

# 学生と地域の可能性を耕すロカモビプロジェクトの取り組み

横浜国立大学（白岩 元彦）

ロカモビプロジェクトは、横浜国立大学の地域の課題に実践的に取り組む教育プログラム「地域課題実習」に属する学生団体である。多様な学問を学ぶ学生らで構成され、学生が主体的にプロジェクトの活動及び運営に取り組んでいる。2023年8月には元代表らによってmobilinet株式会社(<https://mobilinet.co.jp/>)を起業し、住民参加のまちづくりに関する事業を展開している。この組織では、事業によって得られた経験や関係性を学生へ還元、循環を促すことで大学だけでなく自治体や事業者、市民との関係性を強化し、学生の地域での活動による活躍の幅を広げることで、より一層の地域連携による課題解決・価値創造を目指している。

## 総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

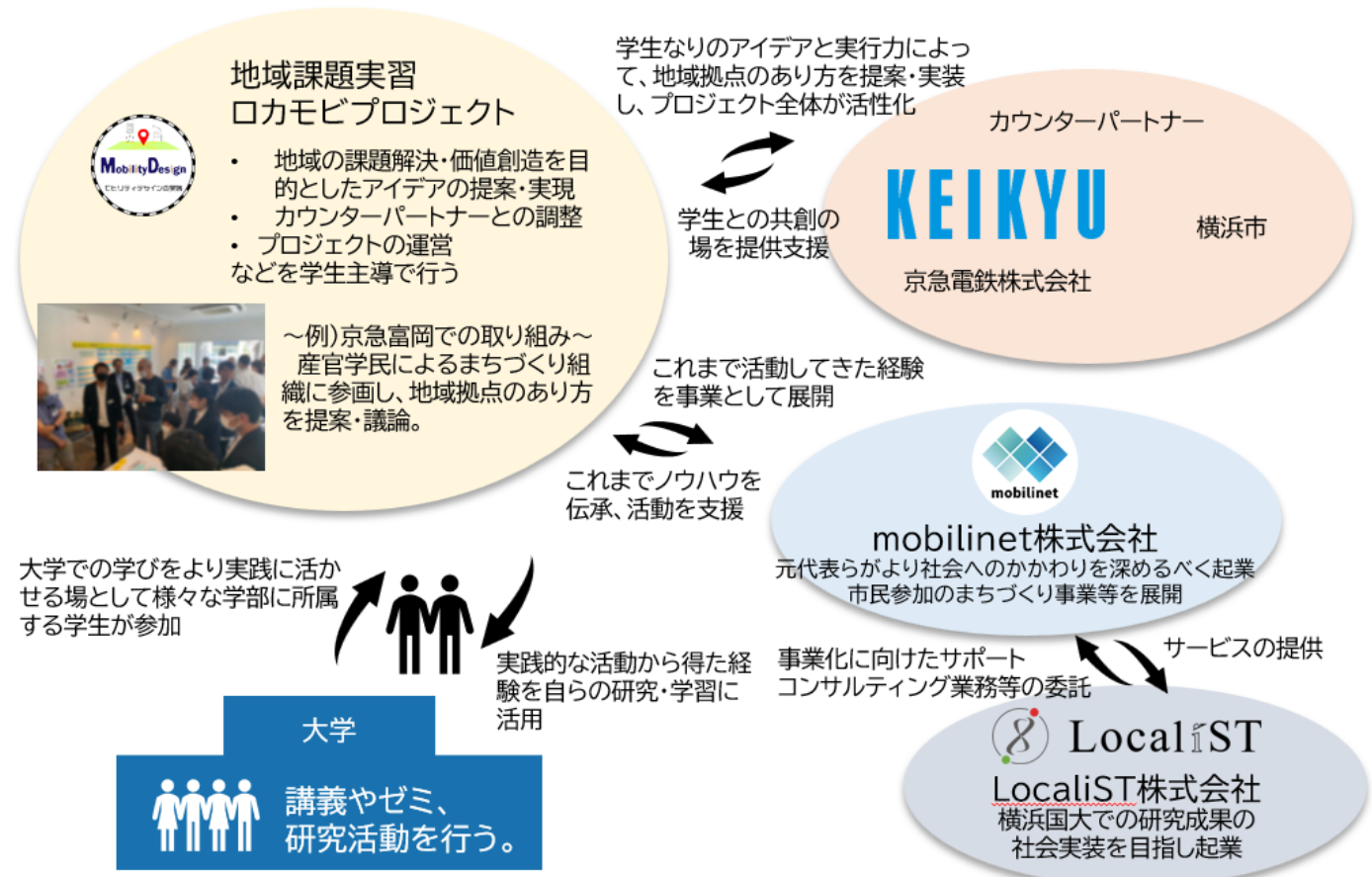
学生が主体となって地域での実践的な経験を通じて活動し、大学の知識を地域と共有し、地域の経験を大学に還元することで、地域課題の解決に貢献する。この仕組みが広がり、学生が地域に深く関わり、個々の個性が交じり合う豊かなまちを未来社会像としている。

## 参画しているステークホルダー / 「矩」を超えた場づくりの工夫

土木工学、建築学、社会学、経営学を専攻する学生が互いの専門知識を共有して、まちづくりのプロジェクトを進めている。また、学生自身のアイデアと実行力により、自治体や地域の交通事業者、ベンチャー企業とともにプロジェクトの取組や議論を実施している。

## 社会へのインパクト

学生の実践的なフィールドとして地域への関与し、複雑な社会課題に取り組むことで学生の力やアイデア、行動力を地域に提供し、社会へのインパクトを生み出している。また、地域での活動をきっかけにmobilinet株式会社を起業し、事業を行っている。



# 学生と地域の可能性を耕すロカモビプロジェクトの取り組み

## 地域課題実習 ロカモビプロジェクト



- 地域の課題解決・価値創造を目的としたアイデアの提案・実現
- カウンターパートナーとの調整
- プロジェクトの運営などを学生主導で行う



～例)京急富岡での取り組み～  
産官学民によるまちづくり組織に参画し、地域拠点のあり方を提案・議論。

学生なりのアイデアと実行力によって、地域拠点のあり方を提案・実装し、プロジェクト全体が活性化

学生との共創の場を提供支援

カウンターパートナー

# KEIKYU

横浜市

京急電鉄株式会社

これまで活動してきた経験を事業として展開

これまでノウハウを伝承、活動を支援



## mobilinet株式会社

元代表らが社会へのかかわりを深めるべく起業  
市民参加のまちづくり事業等を展開

事業化に向けたサポート  
コンサルティング業務等の委託

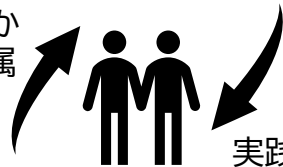
サービスの提供



## LocaliST

LocaliST株式会社  
横浜国大での研究成果の  
社会実装を目指し起業

大学での学びをより実践に活かせる場として様々な学部に参加する学生が参加



実践的な活動から得た経験を自らの研究・学習に活用

大学



講義やゼミ、  
研究活動を行う。

ロカモビプロジェクトが目指すビジョン  
「地域に根差し、  
地域で貢献できる組織へ」

5年後



3年後



現在



これまで



学生が主体的に地域に出  
て、事業者や自治体と共創する場を獲得し活動できるように

学生の立場からまちづくりに関わり、さらに成長・活躍できる環境を整えるために、mobilinet株式会社を起業

学生主導の地域での取り組みが評価され、活躍できるフィールドが拡大

学生時代に獲得したスキルや経験、フィールドは卒業後も活用・還元されることで、個人のレベルアップにつながる

実践的な活躍の幅が広がり、より地域に根差した研究・教育が実現できる形へと進化

地域に対し、教員と同程度の大学の立場としての貢献ができる学生組織へ

教員がプロジェクトの管理を行い、学生は教員から提供されたフィールドの中で活動